

科目名（英文表記）	統合科目Ⅳ（戦略的CSR） （Integrated Subjects Ⅳ）										
科目区分	発展科目	単位数	2 単位								
担当教員名	太田 稔（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_E_IS 6341								
研究室番号	なし	研究室電話番号	なし								
Eメール・アドレス	minoru_ota@sapporo-otani.ac.jp										
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載											
<p><b>授業の目的：</b>          本科目はCSRの要素の中でも環境領域を基軸とした内容として構成しており、特に自然資本経営を中心とした環境CSRに注目して授業を進める。グローバル化、長期化している現代の環境問題を解決するには循環型社会経済システムを早急に構築する必要がある。そのため、企業や組織は社会に対して透明性、自主性、継続性をもって環境マネジメントを実践し、その環境責任を果たさなければならない。自然資本がどのようにビジネスに影響を与え、どのような形でCSRを経営戦略に結びつけることができるのかを段階的に学び、実行できるようになることが目的である。</p> <p>【達成目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境に配慮した事業計画を考案できるようになる</li> <li>2. 環境責任を果たすことのできる組織体制を計画できるようになる</li> <li>3. ステークホルダーとのコミュニケーションを考えることができるようになる</li> <li>4. 本業を通じて社会的責任に注目した戦略を実行できるようになる</li> <li>5. 上記にある4項目を踏まえ、自社におけるCSR戦略を立案・実行できるようになる</li> </ol>											
<p><b>使用教材：</b>授業時に適宜参考書を紹介する。          テキスト： 拓殖大学政経学部編『サステナビリティと本質的CSR』三和書籍 2009年発行          藤田香著『SDGsとESD時代の生物多様性・自然資本経営』日経BP 2017年発行          参考図書： 谷本寛治著『CSR企業と社会を考える』NTT出版 2006年発行          『アドバタイジング Vol.17 生物多様性とビジネス』電通 2008年発行          B&amp;BJapan『生物多様性へのビジネスアプローチ』経済法令研究会 2011年発行          その他： 授業で指定されるテキスト範囲や配布資料などは事前に精読しておくこと。</p>											
<p><b>成績評価の方法：</b></p> <table> <tr> <td>出席</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事前・事後課題</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>授業への参加度（発表、討論）</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>最終課題（モジュール8復習）</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>※5モジュール以上の出席が単位取得に必要。          評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。</p>				出席	0%	事前・事後課題	50%	授業への参加度（発表、討論）	30%	最終課題（モジュール8復習）	20%
出席	0%										
事前・事後課題	50%										
授業への参加度（発表、討論）	30%										
最終課題（モジュール8復習）	20%										
<p><b>履修上の注意事項：</b>          使用図書のみならず、参考図書やインターネット上の情報を活かすこと。          課題については、授業やE-learningを通じて別途指示する。          詳細なレポートの提出時間については授業時に指定する。</p>											